

第 2 回 日進市環境まちづくり評価委員会 次第

日 時：令和 4 年 1 0 月 1 1 日（火）
午前 9 時 3 0 分～

場 所：市役所本庁舎 4 階 第 1 会議室

1 あいさつ

2 議題

(1) 日進市環境基本計画年次報告書（案）について

(2) 答申（案）について

3 答申

4 その他

日進市環境まちづくり評価委員会 委員名簿（五十音順）

委員	愛知学院大学 教授	石橋 健一
委員	名古屋学芸大学 講師	石原 貴代
委員	名古屋大学大学院 准教授	小林 敬幸
委員	名城大学 准教授	鈴木 秀和
委員	名古屋大学大学院 教授	高野 雅夫
委員	にしん市民環境ネット	寺田 裕美
委員	名古屋工業大学 教授	増田 理子

事務局 名簿

生活安全部長	杉田 武史
生活安全部環境課長	近藤 伸治
生活安全部環境課課長補佐	河村 秀根
環境課 ESD 推進係 係長	祖父江 篤人
環境課 ESD 推進係 主任	宮田 大

この分野は、「緑」に関わる要素のうち、市街地の緑を創出し、それらの緑の点を里山の緑から線で結びネットワーク化するための取組に関するものを対象としています。

成果指標		基準値【H23】		H30の値	R2の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
★	緑化の推進に対する満足度	49.2	%	47.4	42.2	未達成	59

※ 成果指標の満足度については、平成26年度より2年に一度の調査

進行管理指標		基準値【H24】		H30の値	R1の値	R2の値	R3の値	長期目標達成状況	長期目標値【R5】
E1※1	緑地率 (緑被率)	41	%	41	38	38	-(31)	未達成	39 確保
E2	公園等愛護会活動公園数	51	箇所	61	60	63	65	未達成	84
E3	市民に開放された樹林地箇所数	14	箇所	15	15	15	15	未達成	50

※1 これまで用いてきた緑地率((施設緑地(ha)+地域制緑地(ha))/都市計画区域面積3,491(ha)×100)は、市において民間施設緑地率が把握できないことから、緑の基本計画が緑地率の代替として緑被率を用いることとしたことにあわせて、緑被率((農地及び森林(ha)/市域面積3,491(ha)×100)国・県による統計資料により算出)に変更しました。緑地率と緑被率は算出方法が異なり、比較できるものではないため、緑被率の数値は、参考数値となります。

【令和3年度の結果と今後の展開】

公園等愛護会活動公園数は、増加傾向にあるものの土地区画整理事業等による住宅開発により緑地率(R3より緑被率)は、減少傾向にあります。

本市は、今後も人口増加を続けることが想定され、そのことはまちの活力となるものです。

今後も令和2年度に改定を行った緑に関する指針となる緑の基本計画に基づき、民地における優良な緑化事業に対する補助金交付の実施など開発と緑の保全の調和を図りながら緑のまちづくりを推進していきます。

資料3

令和4年10月11日

日進市長 近藤 裕貴 様

日進市環境まちづくり評価委員会

会長 小林 敬幸

令和3年度における日進市環境基本計画の進捗状況の評価について
(答申)

令和4年8月2日付け4日環第322号で諮問のありました、「令和3年度における日進市環境基本計画の進捗状況の評価について」下記のとおり答申します。

記

本委員会では、日進市環境基本計画（以下「計画」という。）の推進のため、各委員の専門的知見や経験に基づく多面的かつ客観的な視点から、計画に掲げる施策や事業の実施方法、事業効果、課題等について検証、審議してまいりました。

令和5年度の計画の最終年度に向けて残り2年となります。指標の妥当性や有効性において課題を認識しているものと思われませんが、次期環境基本計画において改善されていくことを期待します。

現計画の総括として、指標の達成率による結果を評価するだけでなく、これまで推進してこられた様々な取組みの内容についても、その成果を評価していくことが必要であると考えます。